

# 環境経済・政策学会 1999年大会

## 大会プログラム

●  
1999年9月25日－26日

●  
於：立命館大学

●  
主催／環境経済・政策学会

9月25日午前の部 第1部 報告・9:15~11:20 第2部 総合討論・11:30~12:20

第1セッション 東アジアの環境問題・東アジアの大都市問題 A (733号教室)

※ セッションの開始時間にご注意ください(第1部、報告の開始時間は9:40です)

座長：井村秀文(九州大学) 総合討論者：畑 明郎(大阪市立大学) 原嶋洋平(地球環境戦略研究機関)

1. 中国の大気環境保護の推移と課題ー環境対策システムの視点を以てー  
李 志東 長岡科学技術大学計画経営系
2. 中国瀋陽市康平県植林計画  
\*吉岡完治 慶応義塾大学産業研究所 / \*王 克鎮 瀋陽市政府日本総代表
3. 中国地域データベースの作成と環境シュミレーション  
\*中島隆信 慶応義塾大学商学部 / 鷺津明由 早稲田大学社会科学部  
/ 朝倉啓一郎 慶応義塾大学産業研究所 / 大平純彦 静岡県立大学経営情報学部 / 鬼頭浩文 四日市大学経済学部
4. 中国重慶市の石炭燃焼に伴う大気汚染対策  
\*溝口次夫 佛教大学社会学部 / 五 青曜 国際善隣協会 / 坂本和彦 埼玉大学  
/ 畠山史郎 国立環境研究所 / 丸山敏彦 北海道科学産業振興財団

第2セッション 環境管理・会計・環境監査 A (743号教室)

座長：吉田文和(北海道大学) 総合討論者：二渡 了(産業医科大学) 山田國廣(京都精華大学)

1. 環境管理と環境監査の政策的有効性  
\*岡嶋宏明 立正大学大学院経済学研究科 / 福岡克也 立正大学経済学部
2. コンジョイント分析による製品 LCA データの経済評価  
鷺田豊明 神戸大学経済学部 / 國部克彦 神戸大学経営学部 / \*栗山浩一 早稲田大学政治経済学部
3. 環境コストに関する会計学的考察  
阪 智香 関西学院大学商学部
4. 静岡大学の活動による環境負荷・環境影響  
\*松坂光照 静岡大学大学院理工学研究科 / 前田恭伸 静岡大学工学部
5. 複数企業における紙額の環境パフォーマンス評価に関する研究  
\*井山慶信・早瀬光司 広島大学大学院生物圏科学研究科

第3セッション 環境行政と法・ローカルアジェンダ A (753号教室)

座長：淡路剛久(立教大学) 総合討論者：浅野直人(福岡大学) 古沢広祐(国学院大学)

1. ローカルアジェンダ21策定プロセスにおける市民・事業者・行政の役割に関する一考察ー豊中アジェンダ21を事例としてー  
\*佐藤 徹 豊中市政策推進部企画調整室 / 川崎健次 豊中市生活環境部環境企画課
2. 生態系保護の費用効果分析の可能性  
岸本充生 資源環境技術総合研究所
3. 環境政策における国と地方の関係ー公害防止協定を素材にー  
松野 裕 明治大学経営学部
4. 自然保護のための財政支出に関する経済分析  
竹内憲司 明治大学短期大学
5. 京都市のローカルアジェンダ21のパートナーシップ組織の到達点と課題  
\*笹谷康之 立命館大学 / 内藤正明 京都大学 / 小幡範雄 立命館大学

第4セッション 環境政策諸手法の比較と評価 A (744号教室)

座長：岡 敏広(福井県立大学) 総合討論者：我妻伸彦(立命館大学) 仲上健一(立命館大学)

1. オープン・マーケット型の排出量取引  
新澤秀則 神戸商科大学

2. 再生可能エネルギーの普及政策  
岡村 薫 大阪大学大学院国際公共研究科
3. 大気汚染対策の費用便益分析：日本の SO<sub>x</sub> 規制を事例として  
\* 河内幾帆・松岡俊二・松本礼史 広島大学大学院国際協力研究科
4. 点源・面源排出権取引制度の理論と実際  
\* 西澤栄一郎・合田素行 農林水産省農業総合研究所
5. ポリシーミックスとしての排出許可証取引制度  
諸富 徹 横浜国立大学経済学部

## 第5セッション 公共事業と環境 (751号教室)

座長：長谷川公一（東北大学） 総合討論者：桂木健次（富山大学） 田端和彦（兵庫大学）

1. 地方財政における環境政策と環境保全・アメニティ創出経費  
林 岳 北海道大学大学院農学研究科
2. コンジョイント分析による吉野川可動堰に関わる代替案評価  
\* 鷲田豊明 神戸大学経済学部 / 栗山浩一 早稲田大学政治経済学部
3. CVM における推計バイアスと公共事業の選択—家庭系一般廃棄物サービスを事例として—  
\* 矢部光保 農水省農業総合研究所 / 佐藤博樹 北海道学園北見短期大学
4. 仮想ランキング法に基づく琵琶湖・淀川的环境改善便益評価  
\* 薫 祥哲 南山大学経営学部 / 安田吾郎 建設省
5. CVM における便益関数移転  
寺脇 拓 日本学術振興会特別研究員

## 第6セッション 国際環境協力 A (732号教室)

座長：高尾克樹（立命館大学） 総合討論者：岩間 徹（西南学院大学） 小島道一（アジア経済研究所）

1. 地球温暖化対策国際協力プロジェクトの経済性評価と日本の政策対応のあり方  
明日香寿川 東北大学東北アジア研究センター
2. 国際貿易と環境リスク—成長ホルモン牛をめぐる米国・EU 間の貿易紛争から学ぶ—  
水谷 聡 一橋大学大学院経済学研究科
3. Transboundary Pollution and Environmentally Friendly Impact of Tradeable Emission Permit System  
大沼あゆみ 東京外国語大学
4. 環境外交と国内政策の相互作用—京都議定書交渉過程とオランダ・EU—  
蟹江憲史 慶応義塾大学大学院政策メディア研究科
5. 途上国における都市貧困層と環境資源管理制度—フィリピンの事例—  
\* 新見道子・藤堂史明 東京大学大学院経済学研究科 日本学術振興会特別研究員

## 第7セッション 地球温暖化対策・COP3 京都会議以降の展開 A (731号教室)

座長：森田恒幸（国立環境研究所） 総合討論者：佐和隆光（京都大学） 松波淳也（法政大学）

1. 途上国の温暖化対策としての CDM の制度設計について  
\* 周 璋生（財）地球環境産業技術研究機構・立命館大学法学部 / 仲上健一 立命館大学政策科学部
2. 地球温暖化対策における責任分担の公平性に関する研究  
\* 柳 美樹 株式会社メディコ / 棟居洋介 東京工業大学社会理工学研究科  
/ 西岡秀三 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科
3. 多部門一般均衡モデルによる地球環境政策の経済影響予測  
\* 藤井朋樹・山下英俊・奥島真一郎・後藤則行 東京大学総合文化研究科
4. 地球温暖化統合モデルの研究 I  
佐藤正博（株）環境数理研究所 / 椿 広計 筑波大学大学院経営・政策科学研究科
5. 「反温暖化論」を検証する  
岩本智之 京都大学原子炉実験所

## 第8セッション 廃棄物・リサイクルと環境政策 A (742号教室)

座長：酒井伸一（京都大学） 総合討論者：早瀬光司（広島大学） 鷺津明由（早稲田大学）

1. 廃棄物行財政システムの政策史分析—一般廃棄物の広域処理をめぐって—  
八木信一 京都大学大学院経済学研究科
2. 廃棄物処理有料化と分別回収の地域的影響を考慮した廃棄物減量効果に関する分析  
笹尾俊明 神戸大学大学院経済学研究科
3. 廃棄物処理計画と諸計画の計画間調整に関する分析  
神崎広史 千葉市環境局
4. リサイクル産業連関モデル：理論と応用  
中村慎一郎 早稲田大学政治経済学部
5. 最適なリサイクル・システムについて—消費者負担システムと生産者負担システムの比較—  
新熊隆嘉 岐阜聖徳学園大学経済情報学部

## 第9セッション 自由論題 A (754号教室)

座長：戸田常一（広島大学） 総合討論者：鶴野公郎（慶応義塾大学） 田村坦之（大阪大学）

1. オランダの GREEN TAX の現状について  
大森恵子 環境庁企画調整局調査企画室
2. 現代公共性論と環境問題  
家木成夫 (株)社会基盤研究所 (大成建設より出向)
3. OPTIMIZING THE GLOBAL ATMOSPHERE AS A COMPOSITE OF GASEOUS ATTRIBUTES :  
A PLANNING AND CAPABILITY APPROACH  
佐藤公敏 亜細亜大学経済学部
4. 持続可能性の条件  
植田 敦 名城大学商学部
5. The Trade-off Between Pollution and Economic Growth in a Two Goods Model  
岩屋将幸 慶応義塾大学大学院経済学研究科

9月25日午後の部 第1部 報告・13:30~16:00 第2部 総合討論・16:10~17:10

## 第10セッション 東アジアの環境問題・東アジアの大都市問題 B (732号教室)

座長：松岡 讓（京都大学） 総合討論者：藤倉 良（立命館大学） 森 昌寿（滋賀大学） 山本秀一（和歌山大学）

5. 中国省別データに基づく環境問題の分析とその理論的考察  
斉藤 崇 慶応義塾大学大学院経済学研究科
6. 中国における環境政策の展開—淮河流域の水汚染問題をめぐって—  
大塚健司 アジア経済研究所
7. 中国農山村水田地帯の生物多様性調査  
\*林希一郎 (株)三菱総合研究所 / 清水矩宏 農業環境技術研究所 / 吉羽雅昭 東京農業大学
8. 中国都市における環境保全計画の体系：その意義・内容・効果と課題  
\*常 杪 (財)地球環境戦略研究機関 / 井村秀文 九州大学環境システム科学センター
9. 中国における経済・エネルギー・環境の2030年見通しと脱炭化に関する計量経済分析  
李 志東 長岡技術科学大学計画経営系
10. 中国天津市における水資源管理の現状とその評価  
\*白 雪梅 (財)地球環境戦略研究機関 / 井村秀文 九州大学環境システム科学センター

## 第11セッション 東アジアの環境問題・東アジアの大都市問題 C (733号教室)

座長：和気洋子（慶応義塾大学） 総合討論者：勝原 健（東亜大学） 佐久間美明（三重大学） 寺西俊一（一橋大学）

11. 日中協力による酸性化対策のコスト・ベネフィット分析  
明日香寿川 東北大学東北アジア研究センター

12. アジア諸国における社会的環境管理能力の形成に関する研究  
\* 松岡俊二・松本礼史・河内幾帆・白川博章 広島大学大学院国際協力研究科
13. 排煙脱硫装置の投資および経常経費  
\* 鬼頭浩文・岡 良浩 四日市大学経済学部 / 酒井裕司 東京大学大学院工学系研究科
14. アジア諸国の環境ガバナンスの現状分析  
原嶋洋平 (財)地球環境戦略研究機関
15. アジアにおける海洋油濁汚染－イボイコス号事故の事例を中心に－  
除本理史 東京経済大学経済学部
16. 東南アジアにおける持続可能な都市化、女性の地位、宗教－実証分析結果－  
\* 小島 宏 国立社会保障人口問題研究所 / B. リマノンダ チュラロンコン大学人口学部 /  
N.B. オヘナ フィリピン大学人口研究所

## 第12セッション 環境政策諸手法の比較と評価 B (744号教室)

座長：諸富 徹 (横浜国立大学) 総合討論者：野村克巳 (京都市役所) 盛岡 通 (大阪大学) 山本 充 (小樽商科大学)

6. 沿岸域での環境改善事業の経済評価と計画システムへの展開  
\* 藤田 壮・盛岡 通 大阪大学大学院環境工学専攻
7. 国際競争力の観点からみた環境税の線形システム分析  
田村坦之・\* 上杉恵一郎・田地宏一・赤沢克洋 大阪大学大学院基礎工学研究科
8. International Oligopoly and Dynamic Game of Pollution Control : A Comparison between Policy Alternatives  
柳瀬明彦 慶応義塾大学大学院経済学研究科
9. コストパフォーマンスからみた環境資源の最適輸送経路について2－SD による固液分離システムのモデル化を題材にして  
\* 竹原明伸 大阪短期大学経営情報学科 / 平塚 彰 大阪産業大学工学部 / 小川恒一 大阪府立大総合科学部
10. 完全雇用政策の環境評価  
野上裕生 日本貿易振興会アジア経済研究所
11. 環境政策手法としての飲料水質基準設定  
早川哲夫 国立公衆衛生院

## 第13セッション 環境評価と環境資源勘定 A (751号教室)

座長：栗山浩一 (早稲田大学) 総合討論者：有吉範敏 (熊本大学) 竹内憲司 (明治大学短期大学) 平塚 彰 (大阪産業大学)

1. 環境評価におけるコミュニケーションの重要性  
山根卓二 京都大学大学院経済学研究科
2. 「期待多様性損失」指標による生態リスク評価とリスク便益分析  
\* 岡 敏弘 福井県立大学経済学部 / 松田裕之 東京大学海洋研究所 / 角野康郎 神戸大学理学部
3. 地球環境・資源への影響を考慮した日本のグリーン GDP  
増田信彦 富山大学経済学部
4. 霧多布湿原の経済的価値評価－観光客、地域住民、日本国民の支払意志額に関する検討－  
\* 吉村哲彦・上田昌史・高城勝信・酒井徹朗 京都大学情報学研究科
5. 建物のライフサイクルにおけるコストと環境負荷  
広松 猛 竹中工務店FM推進本部
6. ヘドニック・アプローチによる住環境ディスアメンティの経済評価  
荒木志奈 慶応義塾大学大学院経済学研究科

## 第14セッション 環境保全意識と行動・政策決定と市民参加 A (743号教室)

座長：若井郁次郎 (株式会社日建設計) 総合討論者：青柳みどり (国立環境研究所) 川本隆史 (東北大学)  
宮本憲一 (立命館大学)

1. 市民による里山保全の現代的意義－「市民commons」としての都市里山－  
呉 尚浩 法政大学社会学部・国学院大学経済学部兼任講師
2. 環境家計簿を用いた地球温暖化防止活動の展開  
\* 柚岡伸明 大阪電気通信大学短期大学部 / 笹谷康之 立命館大学理工学部 / 鈴木靖文 ひのでやエコライフ  
研究所 / 田村友宣 京都大学大学院工学研究科 / 高洲路子・斎藤美子 立命館大学 (産業社会学部学生)

3. 日本の環境 NGO—その発展過程と現状—  
野村 康 (財)地球環境戦略研究機関 / 阿部 治 埼玉大学
4. 地域環境計画における合意形成支援システム  
辻 稔郎 大阪国際大学大学院経営情報学研究所
5. 企業の公害対策行動に関する経済分析  
\*松本礼史・松岡俊二 広島大学大学院国際協力研究科 / 岡田博己 公正取引委員会  
/ 河内幾帆 広島大学大学院国際協力研究科
6. PRTR法政策決定過程と市民参加  
\*後藤敏彦 環境監査研究会 / 池田敦子・河口真理子・岸川浩一郎・高津政允・角田季美枝・榎木茂實  
・水口 剛 パルディーズ研究会 / 小倉 正 JATAN

## 第15セッション 技術革新と環境 (734号教室)

座長：吉岡完治 (慶応義塾大学) 総合討論者：小幡範雄 (立命館大学) 周 璋生 (立命館大学)  
時松宏治 (地球環境産業技術研究機構)

1. 環境産業としての情報産業の発展の可能性に関する基礎的研究  
\*棟居洋介・伊藤博臣 東京工業大学社会理工学研究科 / 森田恒幸 東京工業大学・国立環境研究所
2. 宇宙太陽発電衛星の CO<sub>2</sub> 負荷  
\*朝倉啓一郎・\*吉岡完治 慶応義塾大学産業研究所
3. 環境技術の開発と競争  
伊藤 康 千葉商科大学
4. 燃料電池自動車の技術開発と社会的ドライビングフォース  
今関隆志
5. 重金属汚染—特にカドミウム汚染について—  
畑 明郎 大阪市立大学商学部
6. 日本企業の海外直接投資が途上国の環境に及ぼす効果に関する基礎的研究  
\*山領 圓・棟居洋介 東京工業大学社会理工学研究科 / 川島康子 国立環境研究所

## 第16セッション 地球温暖化対策・COP3 京都会議以降の展開 B (731号教室)

※ セッションの開始時間にご注意ください (第1部、報告の開始時間は13:55です)

座長：新澤秀則 (神戸商科大学) 総合討論者：太田 宏 (青山学院大学) 大沼あゆみ (東京外国語大学)

6. 排出権vs技術移転：地球温暖化問題解決に向けての我国の役割  
藤田康範 慶応義塾大学経済学部
7. わが国における化石エネルギーに関するライフサイクルインベントリーに関する分析  
\*尹 性二・山田竜也 日本エネルギー経済研究所
8. 排出権取引におけるオプション市場の影響分析  
黒沢厚志 エネルギー総合工学研究所
9. 中国における大気汚染対策と地球温暖化防止に対するクリーン開発メカニズム導入の効果に関する分析  
\*小林由典 (株)東芝 環境技術・分析センター / 増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
10. 将来の発展シナリオを考慮した地球温暖化による農業影響のシミュレーション分析  
\*大谷 洋 東京工業大学大学院 / 高橋 潔・森田恒幸 国立環境研究所

## 第17セッション 廃棄物・リサイクルと環境政策 B (753号教室)

※ セッションの開始時間にご注意ください (第1部、報告の開始時間は13:55です)

座長：中村慎一郎 (早稲田大学) 総合討論者：大平純彦 (静岡県立大学) 小出秀雄 (西南学院大学)

6. 残留性有機汚染物質 (POPs) と物質フローアプローチ  
酒井伸一 京都大学環境保全センター
7. 産業工場を社会実験地とする循環複合体の構築の評価  
\*盛岡 通・吉田 登・藤田 壮 大阪大学工学部
8. 温室効果ガスと埋立地消費を基準とした廃棄物処理方式の評価  
\*平井康宏・酒井伸一・高月 紘 京都大学環境保全センター



9. 産業廃棄物の排出者責任

小島道一 日本貿易振興会アジア経済研究所

10. 生ごみ等の資源化の意義と進展の可能性

佐々木輝雄 日本獣医畜産大学食品科学科

**第18セッション 廃棄物・リサイクルと環境政策 C (754号教室)**

座長：高月 紘 (京都大学) 総合討論者：喜多川進 (山梨大学) 後藤典弘 (国立環境研究所) 山川 肇 (京都府立大学)

11. 家電製品に関わる環境負荷低減に向けた市民の役割と負担

\*鈴木靖文 ひのでやエコライフ研究所 / 高月 紘・酒井伸一 京都大学環境保全センター

12. ごみ減量化施策に対する社会経済的分析と提言

坂田裕輔 鹿児島大学法文学部

13. 公共空間における散乱ごみ防止に関する研究

\*早瀬光司・錫木圭一郎・上龍丈太郎 広島大学総合科学部

14. ゴミ有料化・ゴミ分別と住民のゴミ減量・環境保全意識

近藤加代子 九州芸術工科大学環境設計学科

15. 廃棄物処理施設設置と人々の価値観

林 修平 株式会社タクマ エネルギープラント本部技術部

16. リターナブルびん普及のための因子に関する基礎的検討—コンジョイント分析を用いた消費者意識調査—

寺園 淳 国立環境研究所

**第19セッション 自由論題 B (742号教室)**

座長：落合仁司 (同志社大学) 総合討論者：北畠能房 (京都大学) 柴田弘文 (立命館大学) 横山 彰 (中央大学)

6. 環境容量 (エコスペース) による世界と日本の食料生産・食生活の考察

古沢広祐 国学院大学経済学部

7. OECD諸国の農業環境政策の形成原理と実施状況

横川 洋 九州大学農学部

8. 環境保全と食料危機打開の基礎的考察

礎 正雄 中央大学政策文化総合研究所

9. 環境資源管理制度と経済の持続可能性

藤堂史明 東京大学大学院経済学研究科 日本学術振興会特別研究員

10. 森林資源の持続的利用とその主体—日本における木炭生産の歴史的事例から—

谷口忠義 一橋大学経済研究所

11. Green Accounting as Value Added : Depletion and Pollution at a Mine

Robert D. Cairns Department of Economics McGill University

**環境経済・政策学会全員総会 9月25日 17:30~18:30 於 731号教室**

**9月26日午前の部 第1部 報告・9:15~11:20 第2部 総合討論・11:30~12:20**

**第20セッション 東アジアの環境問題・東アジアの大都市問題 D (733号教室)**

座長：明日香寿川 (東北大学) 総合討論者：竹歳一紀 (桃山学院大学) 野上弥生 (地球環境戦略研究所)

17. 韓国の環境問題—始華地区干拓事業を中心として—

申 東愛 九州大学大学院法学研究科

18. 台湾における環境教育政策 (4)

萩原 豪 学習院大学大学院政治学研究科

19. 韓国の環境対策

鄭 徳秀 大阪薫英女子短期大学

20. 環境保全型土地政策について－韓国の開発制限区域制度を中心に－

鄭 成春 一橋大学大学院経済学研究科

21. 東アジアの非鉄金属鉱山－製錬所開発と環境問題－

\* 畑 明郎 大阪市立大学商学部 / 上園昌武 島根大学法文学部

**第21セッション 環境管理・会計・環境監査 B (744号教室)**

座長：國部克彦(神戸大学) 総合討論者：後藤俊彦(環境監査研究会) 福岡克也(立正大学)

6. 環境情報としての報告書の動向と環境会計に関する課題

宍戸雅子 (株)KPMG センチュリー審査登録機構

7. ISO14001認証取得が企業の環境パフォーマンスに与えた変化

\* 森 保文・青柳みどり 国立環境研究所 / エリック ウエルテ Illinois State University, USA

8. 市町村における環境関連予算に関する一考察

\* 二渡 了 産業医科大学産業保健学部 / 井村秀文 九州大学環境システム科学研究センター

9. EMAS 環境報告書の事例分析とその動向

\* 松野大樹 北海道大学大学院経済学研究科 / 吉田文和 北海道大学経済学部

10. 工業設備のライフサイクルの延命化に関する研究－企業の設備面における環境管理活動について－

勝田 悟 環境情報科学センター

**第22セッション エコビジネス (734号教室)**

座長：植田和弘(京都大学) 総合討論者：栗原史郎(一橋大学) 押谷 一(酪農学園大学)

1. 家電リサイクルの課題

小林純子 名城大学大学院商学研究科

2. 企業に対する信頼と消費者行動

青柳みどり 国立環境研究所

3. 日本におけるエネルギー削減の新しいアプローチ－環境負荷低減のための新しい事業の創出－

青野雅和 (株)日本総合研究所研究員、兼(株)ファーストエスコーマネジャー

4. 自動車リサイクルの国際比較

外川健一 九州大学石炭研究資料センター

5. 環境調和型製品づくりへのマーケティング手法の適用可能性の検討

佐々木雅一 資源リサイクルシステムセンター

**第23セッション 環境行政と法・ローカルアジェンダ B (753号教室)**

座長：岸本充生(資源環境技術総合研究所) 総合討論者：大塚 直(学習院大学) 杉本育生(環境市民)

6. アメリカ合衆国水質管理行政におけるノンポイントソース対策について

富田山彦 学習院大学院法学研究科

7. 東アジアにおける長距離越境大気汚染(酸性雨)レジーム形成の可能性－比較地域主義の視点から－

高橋若菜 (財)地球環境戦略研究機関

8. WTO 協定における環境サービスの問題

岩田伸人 青山学院大学経営学部

9. 持続可能な社会の構築：スウェーデンの新たな挑戦

小沢徳太郎 環境問題スペシャリスト

10. 鳥獣被害に対する住民意識と政策決定への指針－愛媛県御崎町柑橘農業の事例を中心として－

\* 長元阿矢 愛媛大学大学院農学研究科 / 中川聰七郎 愛媛大学



## 第24セッション 環境評価と環境資源勘定 B (751号教室)

座長： 薫 祥哲 (南山大学) 総合討論者： 伊藤 康 (千葉商科大学) 鷺田豊明 (神戸大学)

7. コンジョイント分析を用いたケナフ紙購入行動に関する研究  
\* 田口 誠 大阪大学大学院工学研究科 / 坂上雅治 京都大学大学院経済学研究科
8. 鴨川西岸の景観評価  
\* 上田昌史・酒井徹朗 京都大学情報学研究科
9. 油濁被害に対する貨幣補償と実物補償：コンジョイント分析による検討  
\* 竹内憲司 明治大学短期大学 / 栗山浩一 早稲田大学政治経済学部 / 鷺田豊明 神戸大学経済学部
10. CVM による多属性評価の可能性－東京湾油濁汚染の事例－  
\* 栗山浩一 早稲田大政治経済学部 / 竹内憲司 明治大学短期大学 / 鷺田豊明 神戸大学経済学部
11. 市民参加による異なる環境問題間の重要度比較の試み  
\* 松橋啓介・寺園 淳・森口祐一 国立環境研究所

## 第25セッション 環境保全意識と行動・政策決定と市民参加 B (743号教室)

座長： 安田八十五 (筑波大学) 総合討論者： 平岡義和 (奈良大学) 見市 晃 (追手門学院大学)

7. 生涯環境学習論  
齋 正雄 中央大学政策文化総合研究所
8. 改正海岸法と沿岸域の環境管理  
\* 敷田麻実・竹ノ内徳人 金沢工業大学環境システム工学科
9. 地球温暖化における市民の環境リスク認知とリスク回避行動  
\* 大江瑞絵 筑波大学大学院社会工学研究科 / 池田三郎 筑波大学社会工学系 / 関井千尋 住宅・都市整備公団
10. 日独消費者に見られる環境行動のギャップに関する研究  
新村保子・\* 桂川孝子・鈴木清三・清水裕久 住友生命総合研究所 / 青柳みどり 国立環境研究所  
/ 加藤三郎 環境文明研究所
11. CVM によるゴミ削減意志量の計測－藤前干瀉を事例として－  
八木俊一 神戸大学大学院国際協力研究科

## 第26セッション 国際環境協力 B (732号教室)

座長： 伴 金美 (大阪大学) 総合討論者： 後藤則行 (東京大学) 松岡俊二 (広島大学)

6. 海洋野生生物保護と国際協力－米国海洋哺乳動物保護法における対外環境政策を中心に－  
下村英嗣 横浜国立大学
7. アジア太平洋地域の高等教育段階における環境教育の実施傾向と課題  
\* 佐藤真久・ビシュヌ・パンダリ (財)地球環境戦略研究機関 / 阿部 治 埼玉大学
8. 日中 CDM のマクロ経済分析－炭素税導入のケース・スタディー－  
\* 江崎光男・孫 林 名古屋大学大学院国際開発研究科 / 金城盛彦 東海大学政治経済学部
9. ワシントン条約レジーム：NGO と国家の協同・分業統治体制  
阪口 功 東京大学大学院総合文化研究科
10. 日本の国際環境援助協力の現状と課題  
森 昌寿 滋賀大学経済学部

## 第27セッション 地球温暖化対策・COP3 京都会議以降の展開 C (731号教室)

座長： 藤田康範 (慶応義塾大学) 総合討論者： 藤川清史 (甲南大学) 渡辺幹彦 (さくら総合研究所)

12. 地球温暖化対策としての自主協定  
山口光恒 慶応義塾大学経済学部
13. 共同実施をめぐる政治経済学：国際交渉における諸議論の変化  
沖村理史 メリーランド大学大学院
14. 地球温暖化防止活動に取り組む市民・NGO の役割と課題  
\* 田浦健朗 気候ネットワーク / 笹谷康之 立命館大学

15. 京都議定書の実施体制に関する課題と展望  
服部 崇 通商産業省通商政策局通商調査室（前、内閣官房内閣内政審議室）
16. 日本経済の生産・代替構造と温暖化対策に伴う経済的影響評価  
奥島真一郎 東京大学大学院総合文化研究科

## 第28セッション 廃棄物・リサイクルと環境政策 D (742号教室)

座長：金谷 健（滋賀県立大学） 総合討論者：新熊隆嘉（岐阜聖徳学園大学） 渡部昭洋（神奈川大学）

16. 設計者責任について  
倉阪秀史 千葉大学法経学部
17. 地域ゼロエミッション計画の費用効果に関する研究  
\*松本安生 神奈川大学 / 奈良朋彦 東京工業大学大学院
18. Effects of Subsidies to Recycling Activities on the Total Emission  
小出秀雄 西南学院大学経済学部
19. 廃棄物処理費用の支払いルールと廃棄物処理政策  
細田衛士 慶応義塾大学経済学部
20. OECD における拡大生産者責任と我が国の廃棄物政策  
山口光恒 慶応義塾大学経済学部

## 第29セッション 自由論題 C (754号教室)

座長：秋山道雄（滋賀県立大学） 総合討論者：仁連孝昭（滋賀県立大学） 丸山真人（東京大学）

12. 地球環境に関する内生的学習  
藤田敏之 九州大学経済学部
13. 国立公園における環境保護政策—イギリス国立公園の研究—  
江川雅洋 法政大学大学院社会科学部研究科
14. 観光開発と環境制約—単純な土地配分モデルと持続可能性—  
松波淳也 法政大学経済学部社会科学部研究科
15. 快適度を用いた都市計画支援システムの構築—都市施設配置問題の遺伝アルゴリズムによる解法—  
\*柳本哲也 立命館大学大学院理工学研究科 / 大場和久 大阪工業大学工学部 / 井上和夫 立命館大学理工学部
16. Consumers' Environmental Concern and Optimal Extraction Path of Nonrenewable Resources  
後藤久美子 慶応義塾大学大学院経済学研究科

## 9月26日午後の部 立命館大学末川記念会館ホール

第1部 ・ 13:30~14:30

講演 「20世紀の環境問題を振り返って」 宮本憲一・立命館大学政策科学部教授

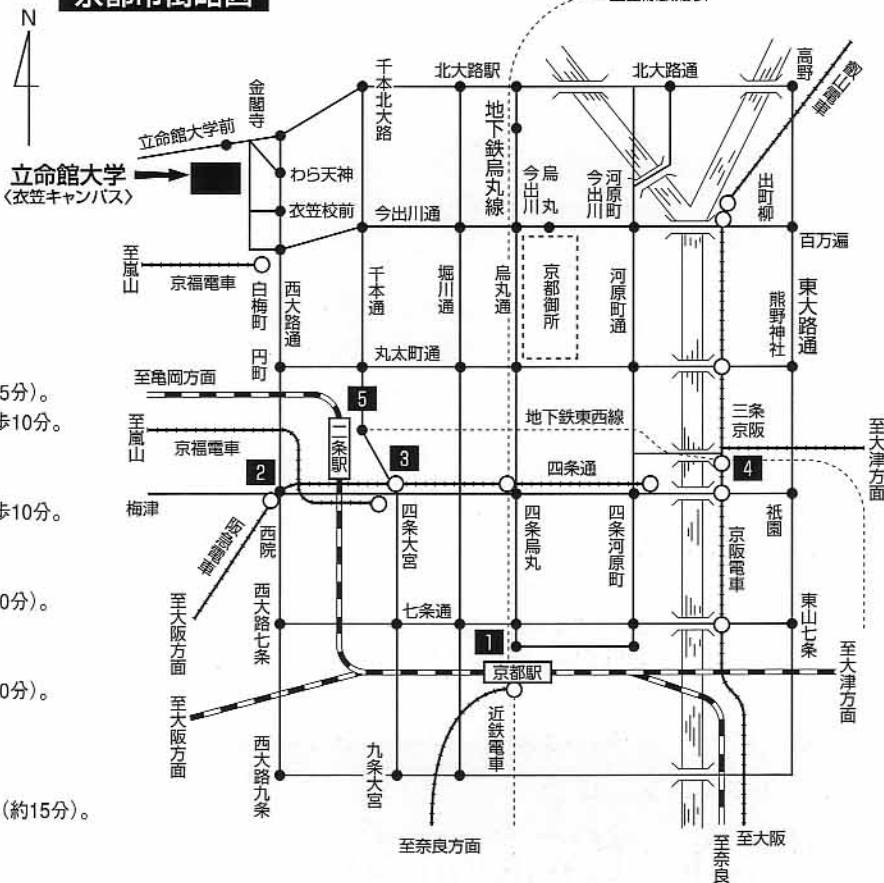
第2部 ・ 14:45~17:00

シンポジウム 「歴史遺産・自然遺産とアメニティ」

パネリスト 西村幸夫（東京大学大学院工学系研究科教授）  
木原啓吉（江戸川大学社会学部環境情報学科長）  
苅谷勇雅（文化庁）  
江口陽子（世界銀行文化遺産パートナーシップコーディネーター）  
野口英世（ユネスコ文化遺産局課長）

コーディネーター 石見利勝（立命館大学政策科学部長）

## 京都市街略図



## 衣笠キャンパスへは

- 1 JR・近鉄京都駅烏丸中央口から**  
 市バス(50)にて「立命館大学前(終点)」下車(約35分)。  
 市バス(205)にて「衣笠校前」下車(約30分)、徒歩10分。
- 2 阪急電車西院駅から(急行停車)**  
 市バス(205)にて「衣笠校前」下車(約15分)、徒歩10分。
- 3 阪急電車大宮駅から(特急・急行停車)**  
 市バス(55)にて「立命館大学前(終点)」下車(約20分)。
- 4 京阪電車三条駅から**  
 市バス(15)にて「立命館大学前(終点)」下車(約30分)。  
 市バス(59)にて「立命館大学前」下車(約30分)。
- 5 JR・地下鉄東西線二条駅から**  
 市バス(15)(55)にて「立命館大学前(終点)」下車(約15分)。

## 立命館大学〈衣笠キャンパス〉建物配置図

